

よいことのために
手を取りあおう



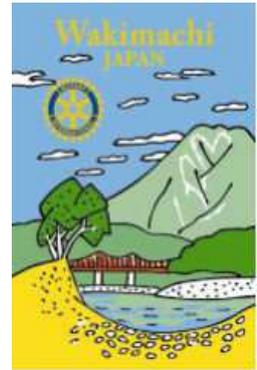
脇町ロータリークラブ

第2670地区

徳島第2分区 脇町ロータリークラブ

2026年3月12日(木)

第35回例会 No.2966



会員総数:39名 出席人数:22名 修正出席者:23名 修正出席率:59%

◎メイクアップ

2/22 IM 29名

足谷会員、遠藤会員、岡本会員、小笠会員、小野会員、笠井博会員
加島会員、河合会員、河野会員、川原会員、北川会員、香西会員
佐藤順二会員、佐藤直樹会員、白川会員、須藤会員、千葉会員
鉄野会員、友成会員、西村会員、橋本会員、藤原武志会員
藤原義浩会員、古川会員、細川会員、南会員、宮本会員、六車会員
山本会員

◎会長挨拶

脇町RC

須藤会長

皆さんこんにちは。

本日は「運がいい人の共通点」というテーマで少しお話しさせていただきます。

まず最初に質問です。皆さんの周りに「この人、やたら運がいいな」と思う人はいませんか？商売でも、人生でも、なぜかうまくいく人。逆に頑張っているのに、なぜかうまくいかない人もいます。この違いは何なのか。実はこれ、心理学の研究もありまして、イギリスの心理学者リチャードワイズマンという人が「運のいい人」を研究しました。その結果、面白いことが分かりました。運がいい人には共通点がある。今日はその中から、私になるほどと思ったものを3つご紹介します。

①1つ目 人に会う回数が多い

運のいい人はとにかく人に会う回数が多いそうです。考えてみると、仕事のチャンスって紹介 偶然の出会い 飲み会 会合だいたい人から来ます。逆に、家にずっといると…運も来ません。私もたまに「今日は誰とも会わなかったな」という日がありますがそういう日はだいたい売上も来ません。運もどうやら外出しないと来ないらしいです。

② 2つ目 行動が早い

運のいい人はとにかく行動が早いそうです。完璧な準備を待たない。とりあえずやる。逆に運が来ない人は「もう少し考えます」「様子を見ます」と言っている間にチャンスが他の人に行きます。商売でもよくありますよね。「いい話だったのにあの時やっておけばよかった」これは私も何回もあります。だいたい後から気づきます。

③3つ目 失敗をあまり気にしない

運がいい人は失敗をあまり気にしないそうです。普通は 失敗→落ち込む→やめる

ですが運のいい人は、失敗→笑う→またやる この違いだそうです。ある意味
図太い人ほど運がいいという研究結果です。これは少し安心しますね。
最後にまとめますと運がいい人は人に会う、行動が早い、失敗を気にしないつまり
行動量が多い。だからチャンスに当たる確率も増える。ということです。
最後に一言で締めます。
運というのは「待つもの」ではなくて「動くと増えるもの」なのかもしれません。
私も今日から運が良くなるように行動量を増やしていきたいと思います。
皆さんはどう思いますか。本日も有意義な例会となりますよう、どうぞ最後までよ
ろしくお願いいたします。

◎幹事報告

細川幹事

到着週報 鴨島RC 洲本RC 阿波池田RC 美馬RC

到着書類 「ロータリー希望の風 奨学金プロジェクト」3/13 AM6時

報告事項 [回覧] 合同花見夜間例会の出欠確認 (参加費 5,000円)

連絡事項 本日例会終了後、次期理事会を開催します

◎プログラム

卓話

千葉会員

私は、東日本大震災の被災地でのボランティア活動を通して、人とのつながりや支え合いの大切さについて深く学びました。初めて宮城県石巻市を訪れたとき、そこには町があったとは思えないほど何もなく、ただ広い土地とがれきが残っているだけでした。道路は通れるように整えられていましたが、その周りには壊れた建物の跡が広がり、津波の大きさと被害の深刻さを実感しました。

現地では、がれきの撤去作業を行いました。重いものを運ぶ大変な作業でしたが、全国から集まった人たちと協力しながら取り組むことで、少しずつ前に進んでいくことができました。初めて出会う人同士でも声をかけ合い、助け合うことで、自然と心が通じ合っていくのを感じました。また、日本だけでなく海外からのボランティアや、さまざまな宗教団体の人たちが力を合わせている姿を見て、人は違いをこえて支え合えるのだと強く感じました。

さらに、被災地の子どもたちを四国に招く活動にも参加しました。子どもたちは最初は少し緊張している様子でしたが、一緒に川で遊んだり、お寺で過ごしたりするうちに、だんだん笑顔が増えていきました。その姿を見て、安心できる時間を過ごしてもらうことの大切さを実感しました。自分の行動が誰かの力になることの喜びも感じるようになりました。

このような活動を続けることができたのは、家族の支えがあったからです。特に母は、私の活動に一度も反対せず、いつも温かく見守ってくれました。母は人が集まることが好きで、どんな人にも優しく接する人でした。

その母は後に病気になり、思うように体が動かなくなってからも、「ありがとう」や「ごめんね」といった言葉を何度も伝えてくれました。そして、「親は子どものために何でもしてやりたいと思うものだ」と話してくれました。その言葉から、親の深い愛情と、当たり前だと思っていた日常のありがたさに気づくことができました。

私はこれらの経験を通して、人との出会いの大切さ、支え合うことの大切さ、そして家族の存在の大きさを学びました。これからもその学びを忘れず、周りの人を思いやる気持ちを大切にして生きていきたいと思います。

◎ニコニコボックス

◎次回例会

2026年 3月 19日（木） 12：30 ～ 清月屋敷

◎次回プログラム

☆次の会員は例会欠席でした。

足谷会員・安部会員・小野会員、笠井稔史会員・加島会員・兼西会員・上柿会員・河野会員
北川会員・木下会員・白川会員・武田会員・友成会員・秦会員・三谷会員・山本会員・吉野会員

☆次回例会の出欠を 佐藤直樹出席委員長まで連絡してください。